

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成27年6月18日 (2015.6.18)

【公開番号】特開2015-83263(P2015-83263A)
 【公開日】平成27年4月30日 (2015.4.30)
 【年通号数】公開・登録公報2015-029
 【出願番号】特願2015-20046(P2015-20046)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成27年4月13日 (2015.4.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

上記課題を解決するため、請求項 1 に記載の発明は、

遊技盤の前方に配設される透明部材を保持する透明部材保持枠と、前記透明部材を通して視認可能で、遊技の進行に関連する演出表示として立体画像を表示可能な表示装置と、前記表示装置による演出表示を補助する演出装置と、前記表示装置及び前記演出装置を制御する演出制御手段と、を備えた遊技機において、

前記演出装置は、前記表示装置の前面に重なって配設され常態において透明な表示部を有する前面表示手段を含み、

前記前面表示手段は、

前記表示部を通して前記表示装置における演出表示を視認可能に構成され、

前記表示部に、前記表示装置における演出表示を補助する画像を表示し、

前記演出制御手段は、

前記表示装置に前記立体画像を前記透明部材側に飛び出すように表示させ、

前記表示装置に、前記立体画像として立体動画像を表示させることに関連して、所定の演出制御を実行し、該演出制御に対応させて前記前面表示手段に前記演出表示を補助する画像を表示させることを特徴とする。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

ここで、「演出装置」は、映像によるもの、音声によるもの、光によるもの、役物の動作によるもの、振動や風を発生させるもの、始動記憶表示など、演出表示に関連して興趣を高める演出を提供できるものであればどのような装置でもよい。また、「立体動画像を表示させることに関連」とは、タイミング的には、表示装置による演出表示が表示される前、演出表示が表示されているとき、演出表示が表示された後などを含み、その他に、演出表示と連動すること、演出表示の内容に基づくこと（演出表示の内容より連想されるイメージ）、などが含まれる。

また、「演出表示を補助する画像」とは、模様（実施例ではヒビ）、図形、キャラクタ

、表示装置において実行される変動表示ゲームで使用される識別図柄と同様な図柄、始動記憶表示の図柄などを含む。前面表示手段は常態において透明な透過型液晶パネルであってもよい。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

請求項1に記載の発明によれば、表示装置の前面側に前面表示手段が配設されているので、表示装置により立体画像を表示する場合に、遊技機の前方からは前面表示手段における表示画像及び表示装置における立体動画像が重なった状態で視認可能となり、表示の組み合わせに応じて従来にない斬新な表示が実行されることとなり、表示のインパクトを高め、遊技の興趣を高めることができる。

また、表示装置による立体動画像と、前面表示手段による表示が一連の流れで行われるので、遊技者に与えるインパクトを大きくし、遊技の興趣を高めることができる。

特に、立体動画像の表示に対応させて演出表示を補助する画像が表示されるので、表示装置により表示される画像が奥から手前に移動して来て前面表示手段による表示画像と連携するような演出を実行することで、遊技者に演出内容の進行（ストーリー）を把握させ易くなる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 0】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 5】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技盤の前方に配設される透明部材を保持する透明部材保持枠と、前記透明部材を通して視認可能で、遊技の進行に関連する演出表示として立体画像を表示可能な表示装置と、前記表示装置による演出表示を補助する演出装置と、前記表示装置及び前記演出装置を制御する演出制御手段と、を備えた遊技機において、

前記演出装置は、前記表示装置の前面に重なって配設され常態において透明な表示部を有する前面表示手段を含み、

前記前面表示手段は、

前記表示部を通して前記表示装置における演出表示を視認可能に構成され、

前記表示部に、前記表示装置における演出表示を補助する画像を表示し、

前記演出制御手段は、

前記表示装置に前記立体画像を前記透明部材側に飛び出すように表示させ、

前記表示装置に、前記立体画像として立体動画像を表示させることに関連して、所定の演出制御を実行し、該演出制御に対応させて前記前面表示手段に前記演出表示を補助する画像を表示させることを特徴とする遊技機。